

【 果 樹 】

果実の入荷量は、年明け直後や温州みかんが九州、四国方面から徐々に静岡などの産地に切替わりもあり、入荷量は少ない状況。

リンゴなども貯蔵のため、相場を見ながらの出荷で現状動きも鈍いため、数量はやや少ない。

あんぽ柿は、年明け以降、荷動きは日々弱い状況が続く厳しい状況だが、最盛期に合わせて下旬からは販促も組み荷動きを出していく対応を実施。

<あんぽ柿>

京浜市場では、フェア関連の一定の注文はみられるものの、全体的に荷動きは重い状況となっている。

関西市場では、週末にフェアが実施予定となっており、荷動き改善に向けた販売となっている。各市場ともに相場は保合となっている。

「蜂屋柿 230g トレー」@特秀 4L 350 ~ 330 円

「平核無 200g トレー」@特秀 3L 300 ~ 280 円

「蜂屋柿 1Kg 化粧箱」@特秀 3L 1,400 ~ 1,200 円

【 野 菜 】

野菜総入荷量は概ね横ばい推移も、ネギ、キャベツ、大根など重量野菜が潤沢入荷に対して、果菜類は気温低下の影響を受け大幅減となっており、先週後半から相場浮上傾向にある。

また、10年に一度の強い寒波の到来により今週末の量販店等への注文分の確保のため、前倒しで荷物の囲い込みをする動きもあり、多くの品目で一時的に不足感が強まるが、末端消費は依然として鈍い状況から、今後は堅調相場見込みも2月上旬の販売は寒波の影響次第となっている。

<いちご>

寒波の影響から入荷量は落ち着いているが、末端の売れ行きは鈍いため、相場は保合となっている。

※業務向けの引き合いもあるL品だけ相場を上げている状況。

@L 420 ~ 400 円 A 380 ~ 350 円

<に ら>

寒波の影響が数量に出るのは次週以降との見方もあり、出荷量は北海道市場、京浜市場共に流通量は減少する見込み。そのため、荷動きを落ち着かせるため、次週の相場は強保合となる見通し。

@A L 90 円 ~ 75 円

<春 菊>

県内・京浜市場では、一時的に減り込んだ入荷量は翌週後半にかけて徐々に回復となる見込みで、次週は保合となる見通し。北海道市場は、関東産の案内は減少し、在庫も解消となる見通しから相場は強保合となる見通し。

@A 120 円 ~ 90 円